

2 - 6 - 3 金森長近

織田信長の部将である。軍功により、天正 3（1575）年に信長から大野郡の 3 分の 2 を与えられ、越前大野城を築城した。越前大野城は平山城の形式で、亀山の山頂に本丸が置かれ、亀山の東麓に二の丸や三の丸、内堀や外堀が配された。

また長近は、城下町の建設も行い、亀山の東側に今の町割りの基礎となる街路や水路を整備した。

本能寺の変の後、豊臣秀吉に仕え、天正 14（1586）年、飛騨国を与えられ、大野から飛騨高山へと移り、その地で再び城と城下町を建設した。

説明板より